

P-01 聴き方を広げる“対話型音楽鑑賞”

講師 梶田 美香 〈カジタ ミカ〉

コース 芸術学部芸術学科 舞台芸術領域 教授 舞台芸術領域主任

科目 音楽

可能日 応相談

形式 ワークショップ

講義内容

私たちは色々な場面で音楽を聴いていますが、そこには知らず知らずのうちに自分の人生や生活で感じていることが反映されています。講座では、個々の感じていることをグループ内で共有し発展させながら、楽曲にオリジナルのストーリーを付けていくワークショップです。「対話型音楽鑑賞」を体験してみましょう。

【必要機器】

CD再生が可能な機器、ホワイトボードとペン、
(必要に応じて、プロジェクターとスクリーン)

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

【受講される方にひとこと】

音楽を感じることは、自分自身と音楽との重なりを見つけていくこと。
これまでにはない音楽の聴き方を体験してみましょう。

P-02 コンテンポラリーダンス体験

講師 浅井 信好 〈アサイ ノブヨシ〉

コース 芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域 講師

科目 ダンス実技

可能日 水・応相談

形式 ワークショップ、実技等

講義内容

名前は聞いたことはないけど、アーティストのミュージックビデオや映画、舞台などでも多く使用されているコンテンポラリーダンスを体験してみましょう。ダンスが初めての人も、イメージに合わせて自由に身体を解放し、楽しめるダンスです。

【必要機器】

音響機材 (PCから出力できる機器)

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

動きやすい服装で参加してください。

【受講される方にひとこと】

決められた振付を覚えるのではなく、イメージに合わせて自由に踊りましょう。

P-03 あなたも審査員 ダンスをジャッジしてみよう

講師 藤田 明史 〈フジタ アキフミ〉

コース 芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域 舞台プロデュース

科目 劇場史、エンターテインメントコンテンツ論

可能日 応相談

形式 ワークショップ・演習

講義内容

パリ五輪で正式種目として行われたブレイキン。審査を行う人はどのような基準で採点をしていたのでしょうか。ダンスバトルの審査を通して、芸術を鑑賞する眼を養います。

【必要機器】

音声出力のあるプロジェクター、スクリーン

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特にありません。

【受講される方にひとこと】

芸術を評価する「審査員」という立場になってみることで、新たな楽しみ方や発見が見つかることでしょう。ぜひ楽しんでください。

P-04 「好き」を探求して企画にしてみよう！

講師 林 真智子 〈ハヤシ マチコ〉

コース 芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域 舞台プロデュース

科目 舞台芸術演習、プロジェクトワーク

可能日 応相談

形式 ワークショップ

講義内容

自分が好きなことや興味があることについて、グループでディスカッションしながら深めていきます。そしてテーマを決めて簡単な企画にまとめ、発表してみましょう。

【必要機器】

特になし

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

【受講される方にひとこと】

自分の中にある気持ちや思いを語り合い、誰かと共有する喜びを体験したり、クラスメイトの新しい一面を発見してみましょう。